

深日地区福祉委員会通信

第4号 2021(令和3)年12月1日(水) 深日地区福祉委員会 (連絡先 479-8464 加門)

ピンチピンチチャンスチャンスランラン♪ 岬中学校・人権学習 (講演会会場)



7月7日、岬中学校において常石勝義さんの講演会がありました。福祉委員も12名がリモートで参加。常石さんは岬中学出身。競馬学校に進み、25歳のときG1初勝利。しかし、落馬事故により引退をよぎなくされ、現在は障がい者馬術で活躍中。「母や同僚の応援があったからできた」「障がい者やからできることもある」等、大先輩の一言一句が生徒の心に残ったはず。そして、童謡「あめふり」のメロディーで、ピンチをチャンスに変えようと訴えました。
中村 勲

深日小学校・平和体験学習

「戦争を繰り返さないよう、政府をしっかりと監視しよう」

8月6日、深日小学校で「平和体験学習」が行なわれ、5年生は辻公三さん(深日在住・85歳)から戦争体験を聞きました。地区福祉委員も4名参加。小学生だった辻さんは、「暮らしのすべてが戦争の犠牲になり、食料や衣類が不足した」、「岬町には軍需工場があり激しい空襲を受け、自宅の近くにも爆弾が落ちた」と振り返りました。辻さんは最後に、「戦争を繰り返さないよう、政府をしっかりと監視することが大事」と強調しました。
加門憲文



(講演する辻公三さん)

「深日地区福祉委員会」とは？

「福祉委員会」は、岬町の福祉活動(社協)をすすめる組織です。地域に密着した福祉活動をすすめるために、深日、淡輪、多奈川、孝子の地区ごとに置かれ、区長会・民生委員協議会・長生会など団体の代表、個人のボランティアで構成されています。深日地区福祉委員会の活動として、ふれあい喫茶などのコミュニティ活動、フェ、ふれあい・いきいきサロン、グラウンドゴルフ大会、ふれあい給食サービス、見守り隊キッズEYEボランティア、地元小中学校との連携事業(平和体験学習、昔のくらし・遊び体験学習等)があります。こうした活動は、地域の皆さんからご協力いただき、根拠共同募金等にも支えられています。

深日地区福祉委員会は、コロナ禍の下でも最大限の感染防止対策をとりながら、地域の福祉活動が粘り強く続けてきました。深日小学校、岬中学校と福祉委員会との連携で人権学習、平和学習などがとりくまれ、貴重な学びの場となりました。また、役員改選が行なわれ新役員が選ばれました。(「通信」編集部)

潜水艦がつくられていた！ 岬中学校・平和教育現地学習



(熱心に話を聞く参加者)

8月6日、深日「なむら公園」で、岬中学校ぴーふる（平和と人権サークル）の生徒達20数名が参加。現在解体中の関電や新日本工機の工場のある所はもとは川崎重工業泉州工場で、戦時中は潜水艦などを製造。1945年7月25日に連合国の空襲を受け、28名が死亡する等、大きな被害を受けました。生徒たちは地区福祉委員の説明に終始耳を傾け、平和の尊さについて学びました。（当初は、現地学習のあと兵庫自治区前の海岸を清掃する予定でしたが、緊急事態宣言が出されたために中止。） 中村 勲

深日地区コミュニティカフェ ご紹介



早く活動が再開
できますよ
うに！！

名前	場所	活動日	備考
ふれあい喫茶	深日会館	毎月第3水曜日	現在コロナ禍のため、活動を休止している場合があります。
北若喫茶のつどい	北出・若宮老人憩の家	毎月第1土曜日	
みはま喫茶	南出老人憩の家	毎月第2土曜日	
純喫茶「友」	深日会館	未定	



カフェの他、9か所でのふれあい・いきいきサロン、深日地区全体の合同いきいきサロンがあります。現在では新型コロナウイルス感染予防のため、実施内容を工夫しながら、サロン再開を進めています。早く以前のように、おしゃべりをして楽しい時間を過ごせるようになりたいものです。カフェやサロンが再開されましたら、少しずつ様子等もお知らせしていきたいと思っております。



2021年度役員紹介

委員長	加門 憲文 (区長会)	常任委員	中出 光子 (民生委員協議会)
副委員長	川東 克志 (区長会)	常任委員	川島志津子 (民生委員協議会)
副委員長	出口 正通 (民生委員協議会)	常任委員	嘉戸 克美 (主任児童委員)
副委員長	松下 勝文 (長生会)	常任委員	高木マユミ (ボランティア)
書記	川端 修 (区長会)	常任委員	太田久美子 (ボランティア)
会計	高倉 雅代 (民生委員協議会)	顧問	中村 勲 (ボランティア)
監事	中村 貞彦 (長生会)		
監事	本川 清誠 (区長会)		